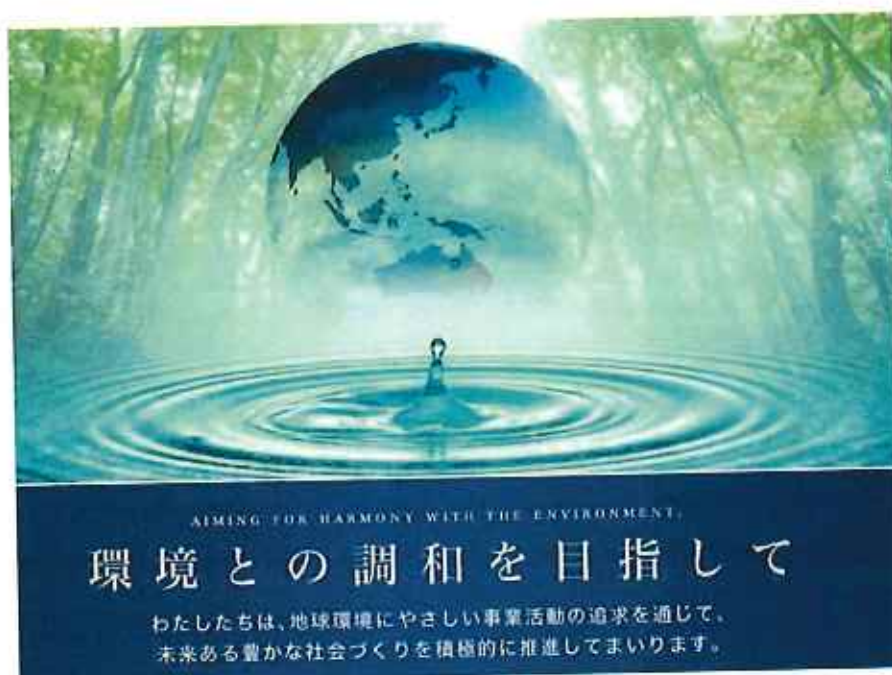


エコアクション21

環境経営レポート

2021年度

(2021年4月～2022年3月)



株式会社 津田

目 次

1. 環境経営方針	...	1 page
2. 会社概要	...	2 page
3. 事業紹介	...	3~4 page
4. 環境経営システム推進図	...	5 page
5. 実施体制と役割	...	6 page
6. 中期環境経営目標(2019年基準)	...	7 page
7. 環境経営活動への取り組み	...	8 page
8. 環境経営活動計画と実施評価	...	9~10 page
9. 2021年度環境経営目標と実績	...	11 page
10. 実績に対する分析・評価	...	12 page
11. 環境関連法規等のチェックリスト(法令...	...	13~16 page
12. 違反訴訟の有無	...	17 page
13. 緊急事態の想定結果及びその対応策	...	18~21 page
14. 代表者による全体評価と見直し結果	...	22 page
15. 許可関連 (処分業・収集運搬業許可証、施設の状況、保有車輛)	...	23~25 page

対 象 期 間	2021年4月1日~2022年3月31日(2021年度)
発 行 日	2022年7月1日発行
お 問 合 せ 先	㈱津田八代工場 〒866-0034 熊本県八代市新港町2丁目4番4 tel:0965-37-1871 fax:0965-37-1860 担当 ;愛宕 靖彦

環境経営方針

「環境と調和」を経営の課題の一つとして捉え、地球環境にやさしい事業活動の追及を通じて、未来ある豊かな社会づくりを積極的に推進し、SDGs達成に向けた活動に積極的に取り組めます。

1. 企業理念及び事業活動と整合させ経営における課題とチャンスをつまえて、これに基づく取り組みをPDCAサイクルの繰り返しにより継続的な改善に取り組めます。
2. 各事業所の環境に関連する対策として、次のことを推進する。
 - ①地球温暖化防止として、省エネルギーを推進する。
 - ②環境汚染防止として、資源の有効利用を目指して、リサイクルを推進する。
 - ③廃棄物の収集運搬・処理業務に関して、環境への影響を配慮する。
 - ④節水、水質汚濁防止に努める。
3. 事業活動に関係する環境関連法規制、条例、協定及びその他合意した事項を遵守し、改善に努める。
4. 環境経営方針を達成するため、環境経営目標を設定し、環境教育、環境社会貢献活動などを通して周知するとともに、社員の環境保全の意識の向上を図り、地域の環境保護活動に積極的に貢献し継続的な改善を推進する。

平成19年4月1日
平成30年4月1日改定
令和2年4月1日改定
令和3年4月1日改定

代表取締役
津田 昭彦

会社概要

会社名	株式会社 津田
代表者	津田 昭彦
創立年月日	昭和39年10月1日 会社創立 昭和60年9月24日 有限会社 津田商店設立 平成10年 株式会社 津田に組織変更
資本金	1,000万円
売上高	1,137百万円
事業所	【本社】 〒869-4201 熊本県八代市鏡町鏡村33-6 tel.0965-52-0015 Fax.0965-52-0758
	【八代工場】 〒866-0034 熊本県八代市新港町2丁目4番4 tel.0965-37-1871 Fax.0965-37-1860
	【宇城支店】 〒869-0541 熊本県宇城市松橋町東松崎643-1 tel.0964-46-1423
	【氷川事業所】 〒448-0813 熊本県八代郡氷川町野津4114-1 tel.0965-52-1065
環境管理者任者	取締役常務 田村 勇喜 tel:0965-37-1871 Fax:0965-37-1860
従業員数	38名(2022年3月末現在)
主な事業内容	一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬及び処分業(中間処理)、リサイクル業
ホームページ	http://www.tsuda-co.jp
対象範囲	(株)津田は全組織、全事業を対象としております。

事業紹介

【産業廃棄物・一般廃棄物処理事業】 2021年度の産業廃棄物中間処理量: 15,451t
 産業廃棄物: 8,457t
 一般廃棄物(災害含む): 6,994t

熊本県八代市(八代工場)、宇城市(宇城支店)、氷川町(氷川事業所)に事業所を有し、産業廃棄物と一般廃棄物の中間処理業と再生資源卸売業を行なっております。

八代工場と宇城支店では、産業廃棄物及び一般廃棄物の中間処理業を行なっており、セメント原料化、高炉メーカー原料化、RPF原料化といった地球環境に配慮した中間処理・リサイクル事業を行なっています。2021年3月から八代工場にRPF大型製造機を設置、2022年1月に産業廃棄物処理品目として、動植物性残渣を追加しています。また、災害廃棄物処理促進の為、2022年5月に移動式破碎機の設置しました。

さらに、八代工場では河川や海上に浮遊する廃棄物の選別や廃船の解体、その他混合廃棄物の選別・分級事業も行なっています。

また、再資源卸売業としましては、八代工場、宇城支店、氷川事業所におきまして、鉄・非鉄と言った金属類、プラスチック類等の再生資源の選別・資源化を行なっております。

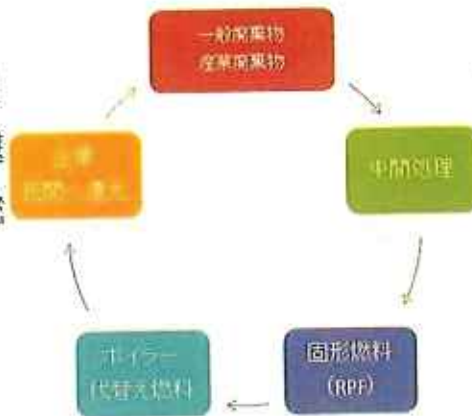
【産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬事業】 2021年度の収集運搬量: 14,551t
 産業廃棄物: 14,044t
 一般廃棄物(災害含む): 507t

お客様から排出される廃棄物の種類は多岐にわたり、その性状も様々です。当社では運搬対象物の性状に合わせた車両を的確に選定し収集運搬を行っております。2022年3月で“令和2年7月豪雨”災害対応の現地仮置場を撤退し、災害廃棄物の収集運搬量も減少してきました。



循環型社会システムを目指して

◆当社ではお客様から排出された廃棄物を原料に固形燃料（RPF）を製造し、お客様がRPFを使していただくことで地球環境に配慮した循環型社会システムの構築に貢献していきます。



◆RPFを利用することは枯渇する化石資源の使用量を減らし、二酸化炭素 (CO₂)

RPF製造フロー

《選別・天日乾燥》

- ・廃プラスチック類
- ・木くず
- ・紙くず
- ・ゴムくず
- ・繊維くず
- ・汚泥
- ・動植物性残渣

《破碎》



《成型》

《RPF》

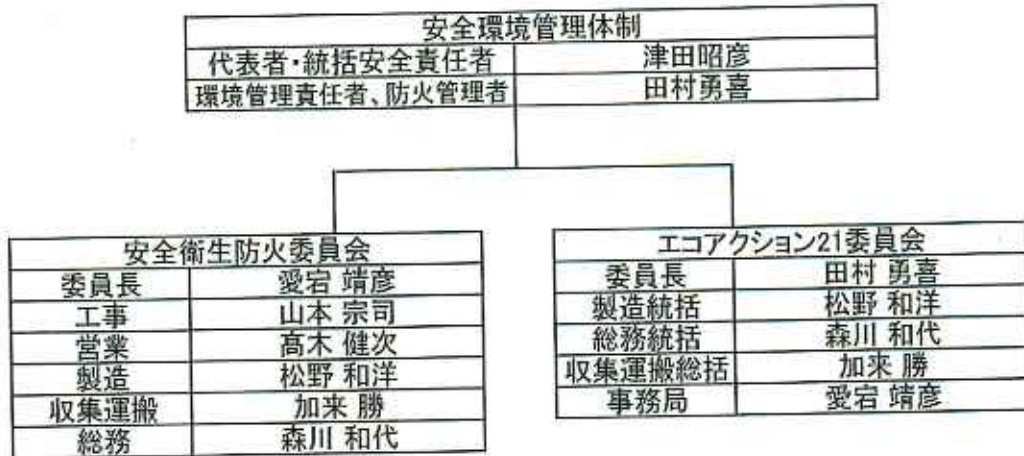


【 当社の特徴 】

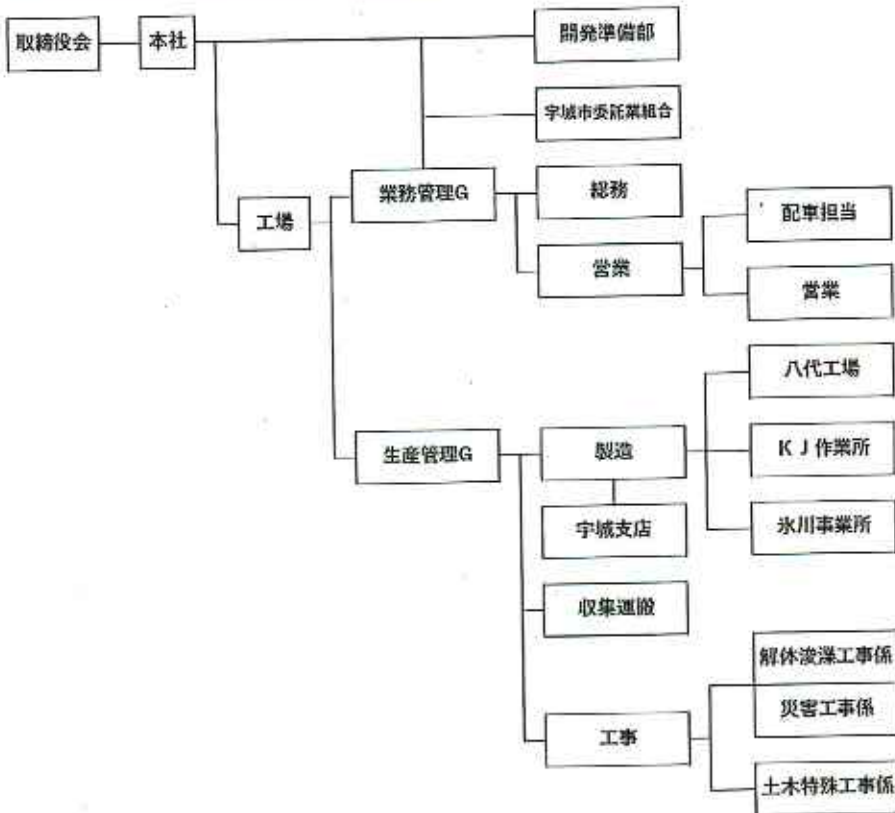
- ◆従来RPFは廃プラスチックや紙くずなどを主原料とし製造しますが、当社では、副原料として汚泥のRPF化が可能となりました。
 - ◆当社では天日乾燥施設を新たに設け、受け入れた汚泥を乾燥処理し、RPF化に成型する技術の確立と許可を取得いたしました。
- ※品質に関しましては、配合量を調整し定期的にRPFの成分分析を行っております。

実施体制

(株)津田 2021年度 環境経営システム推進図



組織図



実施体制と役割

担当者	役割・責任と権限
代表者	1.環境経営方針の制定とEA21環境マネジメントシステムの統括 2.環境経営管理責任者の任命 3.取組状況を評価し全般的な見直しの実施及び指示 4.環境への取組を適切に実行する為の資源(人、物、金)の準備
環境管理責任者 (エコアクション21委員長)	1.代表者より委任を受け環境経営システム全体的な構築、運用、維持に関する責任と権限 2.環境経営活動計画の策定及び進捗管理を代表者へ報告 3.環境関連法規のとりまとめと評価及び環境活動レポートの確認と公表
安全衛生防火委員会	1.危険防止及び健康障害の防止の基本的な対策に関する事 2.労働災害の防止及び原因、再発防止の基本的な対策及び教育に関する事。 3.健康の保護増進を図るため必要な措置の実施計画の作成に関する事。 4.定期に行われる健康診断、その結果に対する対策及び精神的健康の保持増進を図るための対策に関する事。 5.定期的に委員会を開催し実績の把握。
エコアクション21委員会	1.EA21に関する重要事項の審議、決議 2.定期的に委員会を開催し実績の把握。 3.是正、予防処置の必要性の判断及び対策の効果確認 4.環境への取組の実効性を高め、企業価値を向上させること。 5.企業における従業員の教育を促すことで、事業活動における更なる環境配慮の促進すること。
エコアクション21事務局	1.EA21に関する事務全般の所管 2.環境経営管理責任者の業務補佐 3.環境経営活動レポートの作成 4.環境関連の外部コミュニケーションの受付窓口
全従業員	1.環境経営方針、環境経営目標に沿った活動の展開 2.環境経営活動における改善点の提言

※全従業員とは、社員、準社員、パート、雇用延長者を示す。

中期環境経営目標（2019年基準）

◆環境経営目標（廃棄物の収集運搬・処理業務に関する環境の影響に配慮した目標を設定する。）

・電力使用量と化石燃料使用量での二酸化炭素排出量

中間処理		基準年度 2019年	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)
1 電力使用量(マシーン等)	電力 (kWh)	238,404	271,781	309,830	353,206
	CO2排出量 (kg-CO ₂)	114,196	130,183	148,408	169,186
2 軽油使用量(重機・リフト)	化石燃料 (L)	75,087	85,599	97,583	111,245
	CO2排出量 (kg-CO ₂)	193,724	220,846	251,764	287,011
3 ガソリン・ハイオク使用量	化石燃料 (L)	4,467	5,092	5,805	6,618
	CO2排出量 (kg-CO ₂)	10,363	11,814	13,488	15,354
計		318,283	362,843	413,641	471,551

収集運搬		基準年度 2019年	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)
4 軽油使用量	化石燃料 (L)	127,276	145,095	165,408	188,565
	CO2排出量 (kg-CO ₂)	328,372	374,344	426,752	486,498

二酸化炭素排出量/廃棄物取扱量		基準年度 2019年	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)
5	中間処理での廃棄物取扱量 (t)	10,251	11,789	13,557	15,590
	中間処理でのCO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /t)	31.0	30.8	30.5	30.2
6	収集運搬での廃棄物取扱量 (t)	18,346	21,098	24,283	27,902
	収集運搬でのCO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /t)	17.9	17.7	17.6	17.4
7	総廃棄物取扱量 (t)	28,597	32,887	37,820	43,492
	総CO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /t)	22.6	22.4	22.2	22.0

追加目標:2020年度の「代表者による全体の評価と見直し記録」で、「電力使用量増加は仕方ないので、RPF電力原単位改善を目標に加えること。」と指導あり。

電力使用量/RPF製造量		基準年度 2019年	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)
8	RPF製造量(八代工場) (t/年)	0	224	1,834.1	2,130.8
	RPF製造量(宇城支店) (t/年)	1495.7	1,495.7	144.0	144.0
	RPF製造合計 (t/年)	1,495.7	1,720.1	1,978.1	2,274.8
	電気原単位 (kwh/t)	159.4	158.0	156.6	155.3

温室効果ガス排出係数

- ◆二酸化炭素排出量の算出にあたっては、それぞれ以下の温室効果ガス排出係数を使用しております。
- ◆購入電力の排出係数は九州電力2020年度調整後排出係数を使用し算出を行っております。

種 類	温室効果ガス排出係数	
灯 油 (L)	2.49	(kg-CO ₂ /L)
液化石油ガス(LPG) (kg)	3.00	(kg-CO ₂ /kg)
ガソリン (L)	2.32	(kg-CO ₂ /L)
軽 油 (L)	2.58	(kg-CO ₂ /L)
購入電力 (kWh)	0.479	(kg-CO ₂ /kWh)

◆目標値の設定基準

- ・2019年度売上及び各燃料使用実績に対し、売上延び率を「対前年度15%アップ」とし、各燃料使用量15%アップに努力目標1%減を折込み計14%増で計上。
- ・LPG・節水・グリーン購入・自社排出廃棄物削減は、少量の為、環境目標には設定せずに環境活動を実施する。

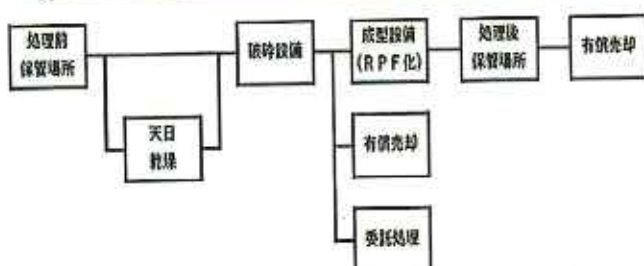
環境経営活動への取り組み

- ◆エコアクション21の認証を取得し、エコアクション21の環境経営システムに基づいて、環境目標の設定、CO₂排出量等の把握を行い環境負荷の改善に取り組んでいます。
- ◆八代工場で2021年3月から稼働開始した「破碎機SC-200N、成型機MH-VI-400」は、環境省補助事業で実施された案件ですが、「先進的取組・技術」など、他の事業者に参考になるような事業として選定され、他の事業者が同様のCO₂削減の取組を行う場合の参考事例として活用し取組の水平展開を目指す為、環境省ホームページに掲載されました。

5. 廃棄物・リサイクル分野の脱炭素化推進事業

5.4 廃棄物燃料製造事業

廃プラ、古紙、廃木材、紙くず、ゴムくず、汚泥の混合状態の燃料化



特徴； 廃プラ、古紙、廃木材、紙くず、ゴムくず、汚泥、動植物性残渣の混合状態のものを燃料化することが出来る。

RPF製造・供給により、約1,620t-CO₂/年のCO₂排出量の削減に貢献している。

CO₂排出量
(t-CO₂/年)



- ◆「再資源回収Box」2021/11/17～運用開始。
 <目的-1>社員が、各家庭から資源となる物品を持ち込み、分別しているのを弊社ご利用のお客様にアピールする。
 <目的-2> RPF原料の確保の為。



株式会社津田は、環境経営を通して、社会的責任を果たしてまいります。

- ◆ PDCAサイクルによる効率的な環境経営マネジメントシステムを構築・運用していきます。全従業員が内容を理解、実践することで、環境経営マネジメントシステムの原動力としていきま小さいことでも疎かにせず、少しずつでも取り組みを行っていきます。



環境経営活動計画と実施評価

環境経営活動計画として、活動内容の選定と簡単な自己評価を行いました。
環境負荷低減の効果として大小ありますが、小さいことでも社員一人一人が取り組むことで結果とし
温室効果ガスの削減、資源の削減に繋がっていきます。

評価の凡例 ○よく取り組んでいる ○取り組んでいる △さらに努力が必要

活動の種類 ①データ集め ②エコ活動継続 ③改善事項

活 動 内 容	実施状況 評価	活動の 種類	担 当
◆中間処理			
1 電力使用量（マシン等）			
1-1)毎月の電気使用量の把握を行う。	◎	②	松野/ 森川
1-2)照明灯はこまめに切り替え、使用後は必ず消灯する。	◎	②	
1-3)エアコンの温度調整をこまめに行う。	◎	②	
1-4)使用後の機械及び使用しない機械の電源をOFFにする。	◎	②	
1-5)破砕機効率が良くなるように廃棄物を混合して破砕機に投入する。	◎	②	
1-6)RPF製造の際、設定温度を低く保てるよう原料の性状を工夫する。	○	③	
2 軽油使用量（重機・リフト・その他）			
2-1)リフトで運搬する際は、動線距離を最短とし積載効率よく運搬する。	○	②	松野
2-2)効率のよいレイアウトで重機作業を行い、稼働を最小限に抑える。	○	②	
2-3)毎月の廃棄物取扱量、リサイクル率の把握を行う。	◎	②	
2-4)廃プラスチック類を選別し、有価物とし出荷する。	○	②	
2-5)処理後の廃棄物はセメント会社等リサイクルできる工場へ出荷する。	◎	②	
2-6)市民が持ち込む伐採木くずや場内美化で出た枯草等は破砕して、堆肥やRPFの原料とする。	◎	②	
2-7)混合廃棄物は、金属くずや廃プラスチック類を有価物、RPFの原料として選別する。	○	②	
2-8)管理型最終処分場で埋立処理していた廃棄物を選別して、できるだけリサイクルを行う。	○	②	
2-9)効率の良いリサイクルが出来るよう排出事業者への分別の理解・協力を仰ぐ。	○	②	
2-10)受入した廃棄物は出来るだけRPF化し、自社リサイクルを向上させる。	○	②	
3 ガソリン・ハイオク使用量（営業車）			
3-1)エコカー車使用	◎	②	高木
3-2)急加速、急減速しないよう、先を予測したエコ運転を実施する。	◎	②	
3-3)低燃費車を積極的に導入する。	○	②	

◆収集運搬			
4 軽油使用量			
4-1)毎月の化石燃料使用量の把握を行う。	◎	②	加来
4-2)運搬ルートや車両ごとに、燃費の把握を行う。	◎	②	
4-3)車両を離れる時は、エンジンをストップを実施する。	◎	②	
4-4)急加速、急減速しないよう、先を予測したエコ運転を実施する。	◎	②	
4-5)長距離の運搬の際は、低燃費車を優先的に使用する。	◎	②	
4-6)ルート回収できるように効率の良い収集を行う。	◎	②	
4-7)積載可能重量まで積載できるよう廃棄物の処理、積込を工夫する。	◎	②	
4-8)低燃費車を積極的に導入する。	○	②	

◆その他			
5 水資源			
5-1)毎月の水道水使用量の把握を行う。	◎	②	松野
5-2)水道水を出しっぱなしにしない。	◎	②	
5-3)雨水を効果的に利用する。	△	③	
5-4)RPF製造における注水量を最小限に抑える為、原料の性状・配合を工夫する。	◎	②	
6 紙使用量削減			
6-1)社内資料にはコピー用紙の裏紙を使用する。	◎	②	森川
6-2)電子媒体を積極的に使用する。	○	②	
6-3)電子マニフェストを導入する。	◎	③	
7 グリーン購入			
7-1)グリーン購入について現状を把握し、買い替えを推進する。	○	②	森川
8 環境美化への取り組み			
8-1)全社員にEA21自問自答カードを持たせ環境に関する意識の向上を図る。	○	②	川本
8-2)環境美化委員会を中心として、場内緑化をはじめとする環境美化を推進する。	○	②	
8-3)小集団活動を推進する。	○	③	
9 可燃物排出量削減			
9-1)事務所等より出る廃棄物は分別に努め、可燃物の量を減らす	○	②	森川

2021年度環境経営目標と実績

○;5%以上改善、△;5%未満～0%改善、×;悪化

◆環境経営目標と実績

中間処理		2021年 目標	2021年 実績	達成率	差異理由	評価	
1	電力使用量 (マシン等)	電力 (kWh)	309,830	461,775	67.1%	八代工場で増設設備立上げ実施し、使用量増加。	×
		CO2排出量 (kg-CO ₂)	148,408	221,190	67.1%		
2	軽油使用量 (重機・リフト)	化石燃料 (L)	97,583	121,339	80.4%	災害廃棄物(木くず1次破砕)の処理増加し、使用量増加。	×
		CO2排出量 (kg-CO ₂)	251,764	313,055	80.4%		
3	ガソリン・ ハイオク使用量	化石燃料 (L)	5,805	5,874	98.8%	営業活動増加に伴い使用量増加。	×
		CO2排出量 (kg-CO ₂)	13,468	13,628	98.8%		
計		CO2排出量 (kg-CO ₂)	413,641	547,873	75.5%		×

収集運搬		2021年 目標	2021年 実績	達成率	差異理由	評価	
4	軽油使用量	化石燃料 (L)	165,408	124,611	132.7%	庫庫の活用が過え、使用量減少。	○
		CO2排出量 (kg-CO ₂)	426,752	321,497	132.7%		

二酸化炭素排出量/廃棄物取扱量		2021年 目標	2021年 実績	達成率	差異理由	評価
5※	中間処理での廃棄物取扱量 (t)	13,557	15,451	114.0%	RPF化、災害廃棄物の処理増加したが、電力・軽油使用が計画以上に増加。	×
	中間処理でのCO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /t)	30.5	35.5	86.0%		
6	収集運搬での廃棄物取扱量 (t)	24,263	14,551	60.0%	積車を増やし、自車運搬での廃棄物量は減少、木くず運搬増加で原単位悪化。	×
	収集運搬でのCO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /t)	17.6	22.1	79.6%		
7	総廃棄物取扱量 (t)	37,820	30,001	79.3%		×
	総CO ₂ 排出原単位 (kg-CO ₂ /t)	22.2	29.0	76.7%		

※5.廃棄物取扱量(中間処理)には、一般廃棄物を含む。

追加目標:2020年度の「代表者による全体の評価と見直し記録」で、「電力使用量増加は仕方ないので、RPF製品原単位改善を目標に加えること。」と指導あり。

二酸化炭素排出量/廃棄物取扱量		2021年 目標	2021年 実績	達成率	差異理由	評価
8	RPF製造量(八代工場) (t/年)	1,834.1	2344.05	128%	生産量は増やせたが、時間生産性が計画未達の為、電気消費が多くなっている。	○
	RPF製造量(宇城支店) (t/年)	144.0	201.91	140%		○
	RPF製造合計 (t/年)	1,978.1	2,545.96	129%		○
	電気原単位 (kwh/t)	156.6	181.4	86%		×

温室効果ガス排出係数

- ◆二酸化炭素排出量の算出にあたっては、それぞれ以下の温室効果ガス排出係数を使用しております。
- ◆購入電力の排出係数は九州電力2020年度調整後排出係数を使用し算出を行っております。

種 類	温室効果ガス排出係数	
灯 油 (L)	2.49	(kg-CO ₂ /L)
液化石油ガス(LPG) (kg)	3.00	(kg-CO ₂ /kg)
ガソリン (L)	2.32	(kg-CO ₂ /L)
軽 油 (L)	2.58	(kg-CO ₂ /L)
購入電力 (kWh)	0.479	(kg-CO ₂ /kWh)

実績に対しての分析・評価

中間処理

①電力使用量は、計画 309,830 kwh/年に対し 461,775 kwh/年 151,945 kwh/年の増加となった。

この要因としては、計画を過去データ(八代の旧破碎機SC-75、宇城支店の小型成型機MH-Ⅲ-150)を元に売上増加見合いで形状した為、2021年3月から八代工場で立ち上げた大型「破碎機、RPF成型機」の使用動力が計画より大きく、電力使用量は増加した。

②軽油使用量は、計画 97,583 L/年に対し、 121,339 L/年と 23,756 L/年の増加となった。

この要因としては、2020年7月に発災した「令和2年7月豪雨」による「木くず・畳等の処理」で重機稼働増加した為、軽油使用量は増加した。

③ガソリン使用量は、計画 5,805 L/年に対し、 5,874 L/年と 69 L/年の増加となった。

この要因としては、コロナ禍で営業等の外出は控えていたが、県内での活動再開を始めた事でガソリン使用量は増加した。

収集運搬

④軽油使用量は、計画 165,408 L/年に対し、 124,611 L/年と 40,797 L/年の減少となった。

この要因としては、2020年7月に発災した「令和2年7月豪雨」によって、作業員を災害現場に設置した仮置場へ配置を継続した事、また、木くず等の場内滞留品の処理を行った事で、収集運搬員が減少。その分を庸車で対応した為、軽油使用量は減少した。

RPF製造時の電気原単位

⑤RPF製造量は、計画 1,978.1 t/年に対し、 2,545.96 t/年と 568 t/年の増加とできた。

電力使用量は、計画 309,830 kwh/年に対し 461,775 kwh/年と 151,945 kwh/年の増加となった。

従って、電力原単位は 157 kwh/tに対し、 181 kwh/tと -16%の悪化となった。

この要因として、上記「電力使用量の分析・評価」記載事項と、RPF時間当たりの生産性が計画 2.66t/Hrに対し、実績 2.04t/Hrと未達となっており、設備稼働時間が長くなり電力消費量も増加している為、電力原単位は悪化した。

環境関連法規等のチェックリスト(法令)

最新情報の確認: http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/isp0100/

作成日: 2018年9月29日
更新日: 2022年6月1日

評価日: 2022/5/1
評価日: 田村

確認 作成
田村 委岩
田村 委岩

法令等の名称	該当する条項等	適用される要求事項	施行時期等特記事項	通用施設・項目	法規制等取りまとめ表記載		作成	
					義務	記載(○)		
基本・一般	○環境基本法	第9条	事業者の責務(ばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害防止、自然環境の保全に必要ないしは環境を汚す。製品の使用又は廃棄による環境への負荷の低減に努める)	・許可更新申請時、設備設置時等に法に準じて評価する。	○	「産業廃棄物処理業の事業者届出変更」許可申請(動植物性残渣の処分) 2021.8.27申請で評価実施を確認。	○	
	○環境影響評価法	第38条					○	
	○地球温暖化対策の推進に関する法律	第5条	事業者の責務(温室効果ガス排出の抑制に努める)		・車輛燃費及びエネルギー消費量からCO ₂ 排出量を換算し管理する。	○	・車輛燃費及び電力、軽油、ガソリンから換算し評価実施。	○
	○特定工場における公害防止組織の整備に関する法律	第2条	<input type="checkbox"/> 大気汚染特定施設 <input type="checkbox"/> 水質汚濁特定施設 <input type="checkbox"/> 騒音発生施設・振動発生施設 <input type="checkbox"/> 粉じん発生特定施設 事業者の責務 事業者の責務	・業許可更新申請時、設備設置時等に法に準じて評価する。 ・モニタリング記録時の注意事項、産廃区分等のOJT実施	○	・実施している。	○	
	○環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	第3条	国及び独立行政法人等の責務					○
	○環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律	第4条	地方公共団体及び地方独立行政法人の責務					○
	○国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律(環境配慮契約法)	第2条	特定施設(ばい煙、一般粉じん・特定粉じん排出) 排出基準の遵守 測定・記録と保管 定期報告 事業者の責務(自動車排出量削減化等)の排出抑制に努める 対策区域内での使用及び所有の不可 削減計画(対象自動車保有数30台以上) スバイクタイヤの使用	猶予期間有	1トン〜25トントラック 15台(該当なし)			○
	○自動車から排出される有害な粒子及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法(自動車Nox・PM法)	第12条 第17条						○
	○スバイクタイヤ粉じんの発生の防止に関する法律	第3条						○
	大気		第16条	管理書の判断基準 重点の業務用冷凍空調機器類重点施設 エアコン7.5kw以上50kw未満など定期点検 廃棄物・リサイクル業者等へのフロン回収済み証明の交付を義務付け 廃棄業者等による機器の有害な確認記録の保存を義務付け等	天カセエアコン3台 ①事務所1 ダイキン RZYP112K ②事務所2 ダイキン RZYP112K ③会議室 ダイキン RZYP112K ④ホール 建機WA350-8 ①日立建機ZX210K-5B ②コヘル建機SK135RD-3 ③キヤクワ-313DOR ④コヘル建機WA350-8	○	高易点検記録(3ヶ月毎)を確認	○
		第42条						○
		第43条	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)					○

法令等の名称	該当する条項等	適用される要求事項	施行時期等特記事項	適用施設・項目	法規制等取りまとめ登記簿		2021年度評価			
					義務	責務	記載(○)	判定根拠	判定	
イクル 廃棄物・リサイクル	<p>特定有害廃棄物の輸出入等の規制に関する法律</p> <p>○ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法(POB処理法)</p> <p>○資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)</p> <p>○容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器リサイクル法)</p> <p>○特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)</p> <p>○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)</p> <p>○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)</p> <p>○食品循環資源の再利用等の促進に関する法律(食品リサイクル法)</p>	<p>■マニフェスト発行・運送運送時の届出</p> <p>■マニフェスト交付状況の報告</p> <p>■専ら再生素材利用を目的の収集・運搬業務に委託</p> <p>□特定有害廃棄物等の輸入・輸出・運搬及び処分</p> <p>□ポリ塩化ビフェニル廃棄物</p>	<p>各届出書</p> <p>該当なし</p> <p>ラバココテナ、固定物を受け入れる場合は、対象となる年代の物は分析表、それ以外はメーカーの不含有証明にて確認</p>				<p>運送なしを確保</p> <p>交付状況を確認</p>			
		第12条-3	<p>○資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)</p>	<p>■パソコンのリサイクル化</p>	パソコン			○	当社での廃棄なし	-
		施行例8条第2条	<p>○容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器リサイクル法)</p>	<p>■事業者の責務(分別排出の努力)</p> <p>□容器包装入り製品の販売</p>	<p>処分時対象</p>		○		当社での廃棄なし	-
		第2条上	<p>○特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)</p>	<p>■TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの廃棄</p>	TV, 冷蔵庫, エアコン		○		当社での廃棄なし	-
		第4条	<p>○国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)</p>	<p>■事業者の責務</p>	物品購入時対応		○		当社での廃棄なし	-
		第5条	<p>○建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)</p>	<p>■解体時のリサイクル化</p>	建築物の解体		○		当社での廃棄なし	-
		第6条	<p>○食品循環資源の再利用等の促進に関する法律(食品リサイクル法)</p>	<p>□全ての食品の排出事業者</p> <p>□年間合計で100トン以上の排出事業者の報告義務</p>					未くす、コンクリートくすの処理要領(※目録)を参照し、80㎡以上の解体物を解体する場合は、八代区役所に届出書を提出し、自社でリサイクル。	○
		第5条	<p>○使用済自動車の再資源化等に関する法律</p>	<p>■自動車の所有者の責務</p> <p>■自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務</p> <p>□特定化学物質の製造、輸入、使用等</p>	自動車廃棄時対応		○		当社での廃棄なし	-
		第3条	<p>○化学物質の蓄積及び製造等の規制に関する法律(化学物質)</p>	<p>□特定化学物質(質量1トン以上、従業員21名以上)</p> <p>□家庭用品の製造又は輸入</p>					当社での廃棄なし	-
		第2条	<p>○ダイオキシン類対策特別措置法</p>	<p>□特定施設</p> <p>□焼却炉排子面積0.5㎡以上</p> <p>□毒物または劇物の取扱</p>	<p>収集運搬時に対応</p> <p>収集運搬時に対応</p>		○		当社での廃棄なし	-
自然保護		○自然環境保全法							-	
		○自然公園法							-	
		○自然再生推進法							-	
		○工場立地法	<p>□敷地面積9000㎡以上</p> <p>□建築面積3000㎡以上</p>						-	
土地利用		○都市緑地保全法							-	
		○大規模小売店舗立地法							-	
エネルギー	<p>第5条</p> <p>第12条の2</p>	<p>○エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)</p>	<p>□第1項 重油熱量 3000KL以上</p> <p>□第2項 重油熱量 1500KL</p>			○	<p>原簿換算262KLなので、特定工場に該当しない。</p>	-		

法令等の名称	該当する条項等	適用される要求事項	施行時期等特記事項	適用施設・項目	法規制等取りまとめ表記載		2021年度評価	
					義務	記載(○)	判定根拠	判定
千 ○新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法 ○放射性同位元素等によるばいじん環境への防止に関する法律 ○消防法	第4条	□新エネルギー利用努力義務						-
○危険性同位元素等によるばいじん環境への防止に関する法律 ○消防法	第21条の4 第31条の4 第10条別表 第9条の2	■火災報知機の設置(工場500㎡以上) ■屋内消火栓の設置(工場700㎡以上) ■消防用設備等の点検と報告 □危険物取扱(指定数量以上) □圧縮アセチレンガス □高圧ガスの消費 車両の運転者は、車検証に記載された最大積載量を超えて積載をして車両を運転することが禁止されている。 「土砂等運搬禁止車両」での土砂の積載を禁止		火災報知機 屋内消火栓 消火器、自動火災報知設備	○	○	宇城消防へ宇城本店での「消火器、自火車、指定可燃物」の届出を提出し対応。	○
その他 ○高圧ガス保安法 ○道路交通法	第57条	車両の運転者は、車検証に記載された最大積載量を超えて積載をして車両を運転することが禁止されている。 「土砂等運搬禁止車両」での土砂の積載を禁止		1トン~25トントラック 16台			過積載を防止する為、計量器にて積載重量を確認している。	○
○電気事業法	第38条	□電気工作物					土砂等運搬禁止車両にて運搬している。	○

違反訴訟の有無

2021年度も環境関連法規等への違反及び関係当局からの指摘等はありませんでした。
また、訴訟等もありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し記録

実施日：

■定期見直し (事業年度終了後)
□臨時見直し

2022年 7月 1日 改訂：一

代表者	環境管理責任者
津田 昭彦	田村 勇喜

見直しに必要な情報		代表者による見直し																					
管理責任者の報告及び改善への提案		変更の必要性の有無・指示事項																					
[取り組み状況の評価結果]		[環境方針]																					
<p>①環境関連法規制等の順守状況(環境関連法規等順守記録による)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6/4に法規定期順守評価問題なしを確認しました。また、2021年度内での環境関連法規等への違反及び関係当局からの指摘等はありませんでした。又、訴訟等もありませんでした。 <p>②問題点の是正処置及び予防処置の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EA21審査での指摘事項の内容処置済みです。 <p>③前回までの代表者の指示事項への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品原単位改善を目標に加えること。→目標と実績のページに追記。 ・省エネ活動を費用対効果を把握しながら、計画的に進めること。→2021は八代工場でのRPF製造コスト実績把握を実施。 ・中間処理での軽油使用量では、更なるレイアウト見直しや稼働を最小限に抑える取り組みを行って欲しい。→担当を決め実施。 ・収集運搬での軽油使用量では、引き続き、低燃費走行を継続して欲しい。→低燃費走行+高速料金削減を併せ検討。 ・コロナウイルス蔓延防止として、引き続き顧客に迷惑を掛けないよう、手洗い等の対応をしっかり行う事。→実施中。 <p>(改善への提案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得、講習会、セミナーにも積極的に参加させていただきます。 		<p>変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p> <p>・「熊本県SDGs登録事業者登録証(第2期)」を2022年1月26日付けで受領した。そこで、「2022年度環境方針」には、SDGsを取り込んだ内容へと変更する。</p>																					
[目標・環境活動計画の達成状況]		[目標・活動計画]																					
<p>○:5%以上改善、△:5%未満~0%改善、×:悪化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標達成状況</th> <th>活動計画実施状況</th> <th>コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電力の削減</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>・八代工場で立ち上げた大型「破砕機、RPF成型機」の使用電力が計画より大きかった。</td> </tr> <tr> <td>軽油の削減(中間処理)</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>・RPF製造量増加に伴う重機使用増、災害木くず処理量が増加し、軽油使用増加。</td> </tr> <tr> <td>ガソリンの削減</td> <td>×</td> <td>△</td> <td>・低燃費走行及び効率的な業務活動を推進したが、コナが落ち着き活動増加。</td> </tr> <tr> <td>軽油の削減(収集運搬)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>・原単使用を増やし軽油使用量は減少。自車では軽い廃棄物を運搬した為、CO2原単位は悪化。</td> </tr> </tbody> </table>		目標項目	目標達成状況	活動計画実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)	電力の削減	×	△	・八代工場で立ち上げた大型「破砕機、RPF成型機」の使用電力が計画より大きかった。	軽油の削減(中間処理)	×	△	・RPF製造量増加に伴う重機使用増、災害木くず処理量が増加し、軽油使用増加。	ガソリンの削減	×	△	・低燃費走行及び効率的な業務活動を推進したが、コナが落ち着き活動増加。	軽油の削減(収集運搬)	○	○	・原単使用を増やし軽油使用量は減少。自車では軽い廃棄物を運搬した為、CO2原単位は悪化。	<p>変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p> <p>・2019年度基準での2020~2022年度目標は、売上を対前年度15%増を目標とした。収集運搬量、処理量も対前年度15%増で、使用エネルギー量は対前年度14%増(1%改善)で計上した。八代工場での「大型破砕機とRPF製造施設」稼働が定常化してきたので、電力使用量に関しては、実績見合いで見直しをしてはどうか。</p>	
目標項目	目標達成状況	活動計画実施状況	コメント (目標値に対するコメント・活動計画に対するコメント)																				
電力の削減	×	△	・八代工場で立ち上げた大型「破砕機、RPF成型機」の使用電力が計画より大きかった。																				
軽油の削減(中間処理)	×	△	・RPF製造量増加に伴う重機使用増、災害木くず処理量が増加し、軽油使用増加。																				
ガソリンの削減	×	△	・低燃費走行及び効率的な業務活動を推進したが、コナが落ち着き活動増加。																				
軽油の削減(収集運搬)	○	○	・原単使用を増やし軽油使用量は減少。自車では軽い廃棄物を運搬した為、CO2原単位は悪化。																				
[改善への提案]		[実施体制の見直し]																					
<ul style="list-style-type: none"> ・機器更新増強計画の際、省エネ案を織り込んでいきます。 ・車輛は計画的に更新が出来ればと考えます。 		<p>変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/>有 <input type="checkbox"/>無</p> <p>・2022年度は、情勢が激しく変化する厳しい環境となる見通しである。これに対応する為、組織見直しをし、二人のグループリーダーと、その下に部署毎にリーダー(サブリーダー含む)を配置する。グループリーダーを中心に工場・工事・総務業務を運営して頂き、身を持って知る体験により仕事の取り組み方・考え方が備わり、次世代に伝承する何かを悟って頂く事を期待している。各長は、自身の成長に結びつける為にも、直面する課題を皆で協議して打開していき下さい。</p>																					
[周囲の変化の状況]		[その他]																					
<p>①外部コミュニケーション記録等より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業及び行政からの苦情、要請はありませんでした。 ・温暖化対策とウクライナ情勢から、石炭使用制限が大きくなっており、RPF需要は高まると推察されます。 <p>②環境関連法規制等の動向他</p> <p>—</p>		<p>変更の必要性： <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>・事業継続計画(BCP)活動を推進する事。</p> <p>・コロナウイルス蔓延防止として、引き続き顧客に迷惑を掛けないよう、手洗い等の対応をしっかり行う事。</p>																					
[改善への提案]		[総括](環境活動レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載)																					
<ul style="list-style-type: none"> ・水害に伴う廃棄物搬出も2022年3月で目途がついてきたので、B棟周辺の滞留している混廃物の処理を行い、RPF化できるか否かで分別し処理していきます。 		<p>持続可能な社会の実現に向け、経済社会システム全体の変化や改革が求められる中、企業の環境経営への取組は今後の社会を生き抜くための必須要件となりつつあります。</p> <p>昨今、日本を含む世界中の企業に、「SDGs」の目標達成に向けた取り組みが強く求められています。SDGsは全世界的な取組みであり、この考え方を踏まえてEA21活動に取り組んで頂きたい。</p> <p>例えば、SDGs7番目の目標に掲げられている「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」では、EA21に取り組むことで、当社RPFの拡販促進が期待でき、達成に繋がります。また、13番目の目標に掲げられている「気候変動に具体的な対策を」は、CO₂の排出量削減で達成可能です。</p>																					
[代表者が自ら得た情報]																							
<ul style="list-style-type: none"> ・環境省は金融庁と組み、金融機関による脱炭素への働きかけ(エンゲージメント)などの強化に向け、CO₂排出量の測定・分析手法づくりに乗り出すと聞いている。そこで、当社ではエネルギー消費に伴うCO₂排出量がいつでも観られる様しておくこと。 																							

許可関連

処分業

(産業廃棄物)

地域	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日
熊本県	第04320023816号	令和1年5月31日	令和5年10月4日

(一般廃棄物)

地域	許可番号	許可の有効年月日
八代市	許可(処)第3-1号	令和3年4月1日から令和5年3月31日
宇城市	宇城市環第1301号	令和4年4月1日から令和6年3月31日

収集運搬業

(産業廃棄物)

地域	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日
熊本県	第04300023816号	平成29年8月8日	令和6年7月11日
山口県	第03500023816号	令和2年9月13日	令和9年9月12日
福岡県	第04000023816号	令和2年5月19日	令和9年5月18日
佐賀県	第04101023816号	令和2年3月9日	令和9年3月8日
長崎県	第04200023816号	平成30年4月6日	令和5年4月5日
大分県	第04405023816号	平成28年3月22日	令和5年7月29日
宮崎県	第04504023816号	令和2年6月9日	令和9年6月8日
鹿児島県	第04609023816号	平成29年10月26日	令和4年10月25日
沖縄県	第047240023816号	令和1年12月9日	令和6年12月8日

(特別管理産業廃棄物)

地域	許可番号	許可の年月日	許可の有効年月日
熊本県	第04350023816号	令和4年6月11日	令和11年6月10日
山口県	第03550023816号	令和3年1月19日	令和10年1月18日
福岡県	第04050023816号	令和3年8月10日	令和10年8月9日
大分県	第04455023816号	令和2年12月24日	令和9年12月23日
宮崎県	第04554023816号	平成29年9月18日	令和4年9月17日
鹿児島県	第04656023816号	令和1年5月12日	令和6年5月11日

(一般廃棄物)

地域	許可番号	許可の有効年月日
八代市	許可(収)第4-16号	令和4年4月1日から令和6年3月31日
宇城市	宇城市環第1291号	令和4年4月1日から令和6年3月31日
宇土市	第17号	令和2年12月1日から令和4年11月30日
氷川町	氷町許可第3-10号	令和4年4月1日から令和6年3月31日
荊田町	第15号	令和4年4月1日から令和6年3月31日

収集運搬業(産業廃棄物)

地域	許可番号	廃棄物の種類																				
		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	動物性固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	鉄さい	がれき類	家畜のふん尿	家畜の死体	ばいじん	13号廃棄物	
熊本県	第04300023816号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	
山口県	第03500023816号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●				●	
福岡県	第04000023816号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●				●	
佐賀県	第04101023816号		●				●	●	●						●							
長崎県	第04200023816号		●																			
大分県	第04405023816号	●	●	●			●		●	●					●							●
宮崎県	第04504023816号		●	●	●	●	●		●	●			●	●	●							
鹿児島県	第04609023816号	●	●	●	●	●	●		●		●		●	●								
沖縄県	第04704023816号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					●

収集運搬業(特別管理産業廃棄物)

地域	許可番号	廃棄物の種類											
		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	PCB等	廃石綿等	指定下水汚泥	鉄さい	ばいじん	13号廃棄物	
熊本県	第04350023816号	●	●	●	●			●				●	
山口県	第03550023816号	●	●	●	●			●					
福岡県	第04050023816号	●	●	●	●							●	
大分県	第04455023816号		●	●	●								
宮崎県	第04554023816号	●	●	●	●			●					
鹿児島県	第04656023816号		●	●	●								



収集運搬業(一般廃棄物)

地域	許可番号	廃棄物の種類		
		一般廃棄物	事業系一般廃棄物	浮遊廃棄物
八代市	許可(収)第4-16号		●	●
宇城市	宇城市環第1291号		●	
宇土市	第17号		●	
氷川町	氷町許可第3-10号		●	
菊田町	第15号			●

※●は許可を取得している廃棄物です。

※許可廃棄物の条件等につきましては当社ホームページ産廃情報ネットをご覧ください。

※すべての地域において「積替え保管」は行いません。

施設の状況

処理方式	施設の種別	取り扱う廃棄物の種類													処理能力								
		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	動物性固形不要物	ゴムくず	金属くず		ガラス・コンクリート 陶器くず	鉄さい	がれき類	家畜のふん尿	家畜の死体	ばいじん	13号廃棄物	
八代工場	破 砕	中山式ハンマシュレッダ						●	●	●	●			●	●	●							97.80 t/日 (16a)
	破 砕	せん断機						●	●	●	●			●	●	●							164.30 t/日 (16a)
	破 砕	ダイコー粉砕機						●	●	●	●												19.20 t/日 (16a)
	圧縮・梱包	PBコンパックス						●	●	●	●												61.10 t/日 (16a)
	解 体	廃船解体場			●	●		●						●	●	●							16.00 t/日 (16a)
	選別・分級	磁気選別機・風力選別機・トインメル	●	●				●	●	●	●	●		●	●	●	●	●			●		32.00 t/日 (16a)
	天日乾燥	天日乾燥施設		●																			29.00 m ³ /日 (16a)
	破 砕	万能一軸式破砕機						●	●	●	●	●			●	●	●						32.10 t/日 (16a)
宇城支店	固形燃料化施設		●				●	●	●	●	●			●									63.68 t/日 (16a)
	減容固化施設	●	●				●							●	●	●					●		76.96 t/日 (16a)
	減容固化施設	●	●				●							●	●	●					●		76.96 t/日 (16a)

中間処理業(産業廃棄物)

許可番号 第04300023816号

地域	処理方式	取り扱う廃棄物の種類																				
		燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	動物性固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート 陶器くず	鉄さい	がれき類	家畜のふん尿	家畜の死体	ばいじん	13号廃棄物	
熊本県	切断						●	●	●	●			●	●	●							
	破砕						●	●	●	●	●		●	●	●			●				
	圧縮・梱包						●	●	●	●												
	船舶の解体			●	●		●						●	●	●							
	選別・分級	●	●				●	●	●	●	●		●	●	●	●	●				●	
	天日乾燥		●																			
	固形燃料化		●				●	●	●	●	●		●									
	減容固化	●	●				●							●	●	●						●

中間処理業(一般廃棄物)

地域	許可番号	取り扱う廃棄物の種類													
		一般廃棄物	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	廃船	金属くず	がれき類	鉄さい	汚泥			
八代市	許可(地)第3-1号		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
宇城市	宇城市環第1301号	●(し尿及び浄化槽汚泥を除く一般廃棄物)													

※●は許可を取得している廃棄物です。

※許可廃棄物の条件等につきましては当社ホームページ産廃情報ネットをご覧ください。

※すべての地域において「積替え保管」は行いません。

